



河北診療所 耳鼻科

[はじめまして](#) | [診療案内](#) | [医師紹介](#) | [所在地案内](#) | [お問い合わせ](#)

耳なりにお困りの方

難聴にお困りの方

デジタル補聴器

音が聞こえる仕組み

[TOP](#) > [耳鳴りにお困りの方](#) > 耳鳴りの成り立ち

耳鳴りの成り立ち



耳鳴りの成り立ち

- まだ定説は無いが、耳から脳までの神経経路に何らかの障害が生じているらしい
- 中でも、内耳の蝸牛有毛細胞が、炎症、循環障害、薬物障害、加齢などによって変性することが誘因と考えられている
- 蝸牛の有毛細胞に障害が生じると、細胞内のイオン動態に異常が起こり、音刺激が無いのに刺激されたかのような自発放電を生じる可能性がある
- 慢性的な「耳鳴」は、内耳からの信号を脳の中で独自に増強し、やがて「不安」「不快」「焦り」といった感情と結びつくことによって生じる

©河北診療所 耳鼻科

耳鳴りの大部分は、耳から脳までの神経経路に何らかの異常状態が発生して発症しますが、最も多い耳鳴りは蝸牛といわれる「かたつむり」の中にある音をキャッチする細胞の変性により生じるものです。

この場合は、細胞内のイオン動態に異常が発生して自発放電を引き起こして耳鳴りとなる一過性のもので、特に病的なものとはいえません。

しかし普通は、一過性の耳鳴りがあってもあまり気にならないものですが、特に就寝前のような静かな場所で、より大きく聞こえるようになると、これが苦痛で眠れなくなる場合が生じます。

その結果、睡眠不足が重なり、ますます「不安」「不快」「焦り」といった感情と耳鳴りとが結びつき次第に増幅して、静かな場所に限らず絶えず耳鳴りに悩まされるような状況となります。このような「耳鳴」を慢性的な耳鳴りとして、一過性のものと区別して治療の対象とします。



前のページ



次のページ

- [耳鳴りとは？](#)
- [「聴神経腫瘍」が原因で耳鳴と難聴が生じた症例](#)
- [耳鳴りの成り立ち](#)
- [耳鳴りの治療法](#)

Copyright 2006 Kahokushinryoujo All Rights Reserved.